

速報版 第 6 回甘沼安否確認訓練結果報告

湘北地区合同安否確認訓練にご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

都市型災害発生時にはご近所さんが協力して安否確認を行い、ケガ人の救出・救護を行う必要があります。(被害が甚大で、警察・消防等の公助は期待できません)

このことから今年も救出・救護活動へつなげる目的で、安否確認訓練を実施致しました。

1. 実施日 2025 年 11 月 2 日 (日) 10 時～
2. 参加団体 甘沼自治会、香川自治会、松風台自治会、みずき自治会、鶴が台一街区自治会
鶴が台団地自治会、ライトタウン茅ヶ崎自治会は情報伝達訓練のみ参加
3. 訓練の展開方法 予告及び実施連絡の全戸配布にて通知
4. 実施方法 甘沼自治会組織をベースに組単位で実施し、結果を本部に報告
5. 実施内容 ① 無事を目印としてタオル・手ぬぐい等を門扉、ドアノブ等に掲示
② 一時避難場所に集合 ③ 感震ブレーカー設置世帯 ④ 消火器設置世帯の確認
⑤ 一時避難所での話し合い有無調査
6. 集計方法 ① 組単位で無事を目印掲示数集計 ② 組単位で参加世帯数集計
③④ 一時避難場所に参加された世帯数を母数として集計 ⑤ 組単位での有無集計
7. 集計結果 (自治会員世帯数 1,053 世帯、組数 84 組、集計報告書回収率 98.8%)
 - ① 無事を目印掲示率 63.8%、672 世帯 (70.2%) ※ () は、前年の結果
 - ② 一時避難場所集合 56.7%、597 世帯 (60.6%)
 - ③ 感震ブレーカー設置世帯 18.8% (20.5%)
 - ④ 消火器設置世帯 49.2% (40.1%)
 - ⑤ 一時避難所での話し合い 83.3% (84.7%)

<結果について>

- ・ 昨年は能登半島地震の記憶もあり、また、今年は連休の中日に実施した影響から①②の結果が昨年を下回ったと思われる。
- ・ ④消火器の設置については、今年斡旋販売を行った結果、約半数の世帯に設置することができた。(目標は100%)
- ・ 「ご意見」から、まだ感震ブレーカーの認知度が低く、啓発の必要性を感じた。

8. ご意見記入欄の要約

- ・ 日中高齢者が1人になる世帯では、玄関に家族の連絡先リストを貼っている。
- ・ 住宅地が斜面にあるため、壁(ブロック、レンガなど)のヒビ割れが心配。
- ・ 住宅地の道幅が狭いため、救急者が立ち往生することがしばしばある。
- ・ バックで来ればよいことなど、予め消防に伝えることは可能でしょうか？
- ・ 日中仕事や学校等不在な人が多い、日中災害が起きた際、目印等掲示が難しい。
- ・ 高齢者が増えて乳児幼児も増えた班なので、皆で協力しましょうと話しました

----- 裏面に続く -----

- ・感震ブレーカーの存在を知らない方ばかりでした、今回のアンケートを取る際(自分も含め)認知しました、有事の際の行動をシュミレーションした。
- ・今回三連休中で集まりが悪かったのではと思われた。
- ・感震ブレーカーがわかりづらくて何を購入したらよいかわからない。
写真も見にくいので大きくしてもらいたい。
- ・集合場所の展開ができていなかった。
- ・不参加者は致し方ないですが(都合もあるので)タオルの目印は掲示されていた方が良かったと思います。
- ・この組は老人の集まりだ、でも皆さん協力的です。
- ・話した事 その方の自宅に行き声をかける、顔を確認する。各家庭の人数を把握する。
ご近所の携帯番号を知る。
- ・開始時間を9時からの検討をお願いします。
- ・一時避難場所としてなぎさ保育園はできませんか?(小学校や中学校は遠い)
- ・最近変な電話が多い(録音されたもので一時間経ったらこの電話は使えない等)
- ・災害時のときは身の安全を行ない周囲の方へ声の掛け合いを行う。
- ・家族の人数や世帯の内訳などがわからない家がある、いざという時に助け出す人数がわからないのは困る。
- ・このような訓練などいつも日曜日で休めないので参加できないという声がある。
- ・津波警報避難場所は小中学校よりもスリーハンドレッドゴルフクラブがいいのではないかと。
- ・消火器は以前置いていたが、期限が切れてしまったと言う方もいらっしゃいました。
- ・感震ブレーカー、5件購入。 ・他地区のゴミが捨ててあることが多い。
- ・三連休中の開催はいかがなものか、子育て最中の家族への配慮を必要と思う。
年配者2人世帯の方からも同情意見あり。
- ・火災が起きた時、家が密集している地区なので手引きを元に話をしたが、移動式ホース格納箱のある場所を防災リーダーに教えてもらい、改めて消火器の取り扱いの話し合いができてよかった。
- ・住民の意識の低さに災害が起こらないことを祈るのみです。
- ・防災委員様は、ご苦労様です、ご説明をいただきました。
- ・各家庭に笛を常備したらどうか。空き家問題。 ・消火器のピンの抜き方を訓練してほしい。
- ・災害時の近所(近助)が大切だが、15軒中11軒が70歳以上で、若い人は日中いないことも。
- ・防災無線聞きづらい(雨の時など)防災ラジオ設置数5件。
- ・震度いくつで安否確認するのか? ・避難場所を知らない方などいらっしゃいました。
- ・ゴミを関係なく出している人がいる。

<防災の備え説明会時の質問・確認内容>

- ・ちょっとした隙に自転車を盗まれた。届けたら甘沼は盗難が多いといわれた。
必ず鍵をかけて気を付けて欲しいと情報提供があった。
- ・感震ブレーカを付けたいが取り付けもやって欲しいとの要望があり。
シルバー人材センターに依頼
- ・自治会に未加入のお宅(アパートの方)の安否確認はどうすれば良いのか?
今回は声をかけていない。➡要支援者に登録されている方は民生委員が対応しているが、その他の一般の方には対応できていない。今後の検討課題と認識している。
- ・組長の引継ぎ時に避難行動要支援者の名簿を受けて今回の訓練に使用したが、名簿の内お一人はお亡くなりになっている。名簿を更新して欲しい。
- ・まちぢから協議会のHPを紹介した。今回は防災・防犯の内容について説明した。

※集計報告書【ご意見記入欄(ご自由に記入願います)】への貴重なご意見ありがとうございました、ご近所さんとの話しの内容、訓練に対する意見・要望・感想、その他色々と記載がありましたが、今後の参考とさせていただきます。

※ 詳細版については、後日報告致します。

以上